



各 位

会 社 名 : 株式会社夢真ホールディングス
 (コード : 2362 JASDAQ)
 代表者名 : 代表取締役社長 佐藤 大央
 問い合わせ先 : 執行役員 財務経理本部長 片野 裕之
 (TEL : 03-3210-1212)

2018年9月期 第1四半期 連結決算概況について

1. ハイライト

- ① 連結売上高 稼働技術者増で前期比35%増収 ⇒ 30四半期連続で前期比増収達成
- ② 連結営業利益 建築技術者派遣及びエンジニア派遣ともに堅調で前期比+91%の大幅増益
- ③ 建築技術者派遣にて3ヶ月間で695人(前期553人)の採用実績となり費用を抑えつつ順調に推移

2. 経営成績

- ① 連結 (百万円)

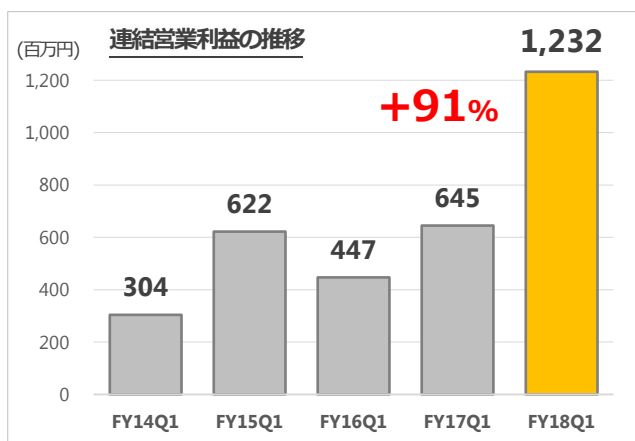
	2017年9月期 第1四半期	2018年9月期 第1四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	6,998	9,411	+2,412	34.5%
営業利益	645	1,232	+586	90.8%
経常利益	724	1,204	+479	66.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	426	957	+531	124.5%

- ② 建築技術者派遣事業 (百万円)

	2017年9月期 第1四半期	2018年9月期 第1四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,278	7,017	+1,739	33.0%
営業利益	676	1,176	+500	74.0%
期末技術者数(人)	3,578	4,629	+1,051	29.4%
期中平均技術者数(人)	3,503	4,575	+1,072	30.6%

3. サマリー

- ① 売上高 建築技術者派遣及びエンジニア派遣ともに、稼働人数の増加、稼働率の上昇により30%超の増収となりました。その結果、連結売上高では35%増収の9,411百万円となりました。
- ② 営業利益 建築技術者派遣事業にて派遣単価が2.6%上昇、その結果、売上総利益率が32%となり前年比2pt改善、対して採用費等の費用は微増にとどまり74%増益となりました。エンジニア派遣事業では、稼働率の上昇により48%増益、その他事業では、取捨選択が進み損失が限定的となったため、連結営業利益では、前期比91%増益の1,232百万円と大幅な増益を達成いたしました。



～第2四半期以降について～

建築技術者派遣事業にて、旺盛な需要を背景に派遣単価、稼働率の好調が継続。採用費は前期比微増の計画で引き続き高い利益率となる見通し。エンジニア派遣事業では、稼働率の向上で採用人数増加による費用増をこなし、しっかり利益貢献見込み。その他事業では、さらに取捨選択が進み、損失額は第2四半期以降ほぼ増加しない見通しとなります。

※ 通期予想 : 売上高 390 億円 (+27.8%)、
営業利益 45 億円 (+90.5%)